

めだかの学校だより

令和4年2月1日

第114号

学舎：磐田市敷地

「旧豊岡東小学校」

事務局：静岡県磐田市

家田 529-20

TEL:0539-62-6691

校長訓話

第一一四回 校長 野村 諒子

儲けものの命と違って出来ることをしていたら、三つの人生を楽しめた！

出身地の駿東郡小山町は山梨、神奈川県との県境、裏山の富士山に夕日が沈む家で育ちました。人は100%死ぬ定めとはわかっていても、日々の生活の中でそんなことを考える人はほとんどいません。でも、18歳、28歳、45歳の私は、確実に人の命のはかなさに向き合っていました。

高校3年の6月、腎臓病という思いもかけない病気で入院し、同じ病院の看護婦さんの子どもが溺れて救急搬送され、先生方の必死の救命にも関わらず亡くなられた時のお母さんと思われる看護婦さんの絶叫を聞いた時は、自分も腎臓病という予想外の病気のはかなさ尊さを身近に感じました。「28歳までに2人の子どもの母親になりたい」と願っていた私は、次男が8か月の未熟児で生まれてこども

病院にお世話になったとはいえず、無事に退院出来て希望が叶い幸せだと話した次の日、その次男をおもちゃの事故で亡くしました。STマーク付きのおもちゃで亡くなるなんて、二度とこんな悲しみを味わってほしくないと思死に訴え、当時の日経新聞の家庭欄でも取り上げていただき、STマークの規格が2年後に変わっておもちゃが乳児の口に入らない大きさになりました。私は「幸せ」という言葉は、二度と口にしないと決心していました。

その後、夫の転勤に伴って5回の引っ越しと高校、中学、小学生の3人の母親として頑張っていた矢先に、夫が精神的な病になりました。そして、私と同じ歳の友人であり、子ども達と同級生のお母さん達二人が、45歳の時に癌で亡くなりました。「せめて子どもが高校を出るまで、あと5年生きたい」と私に語っていました。

専業主婦で、良かれと思って精いっぱい頑張っていたつもりでも、子育てに悩み、夫は病気になる、そんな矢先の友人2人の死。生きたかっただろう彼女たちの思いを受け止めた時、「死んでいたのは私だったかもしれない」とも思い、生きていく自分の命は

儲けものの命だと思ってしまうようになりました。

そして、専業主婦、母親として生きてきた自分は、独り善がりの押し付けを家族にしていたのではないかと気が付き、奥さん、お母さんではなく一人の人として出来ることを見つけて、必要とされる人生を生きてみようと思えました。

家族の了解を得て東京の講座に通い、その後、精神障がい者5名で結成したビートルズのコピーバンド「やすのりバンド」のマネージャーを引き受けることになり、それが私の社会参加のきっかけとなりました。

障がい者の社会参加活動として「夢アーティスト協会」を設立し、音楽、絵画を通じての活動は15年続きました。同時期に静岡でのNPO法を学ぶ講座に参加したことからNPO法人設立に関わり、県東部の沼津、御殿場、裾野、小山町、富士宮、三島の市民活動支援施設の設立、運営にも関わってきました。

平成23年、統一地方選挙に立候補する機会を得て、三島市議会議員となり今に至っています。

主婦業から決心して社会に飛び出してみたら、いろんな人との出会いがあり、チャンスがあり、主婦では絶対に経験できないようなステージを経験し、人生は面白いと今は心から思っています。これから残された人生でも次にどんな世界が待っているか楽しみです。そして、人は何度でも挑戦でき生き直しが出来ると思っています。

めだかの学校伝言板

第114回めだかの学校は新型コロナの関係で休校です。

校長／野村諒子

教頭／秋山勝則

用務員／横山忠志

<学舎>静岡県磐田市敷地 782-1

「旧豊岡東小学校 サブセンター (体育館)」

※今回はコロナの関係で仮に学舎を旧豊岡東小学校にしてありますが、コロナが収まって一宮総合センターに戻りたいものです。

開校日／令和4年3月5日(土) PM 1:20～

受付／大場敬子・大橋町代・榊原幸雄(後見人)

29期通年テーマ：『Oh ニューめだか ショウタイム…?』

今回のテーマ：<言葉がかたりかけるもの、とは>

<時間割>

●29期特別授業

社会 菅原歆一先生「思うままに…」

でしたが、新型コロナウイルスの感染がいつこうに衰えず休校となりました。残念！次の機会に…。

やゝいろいろ書いてくれました。人生前向き前向き。いいですね。でも今年の3月が114回、6月が115回、200回だと何年ですかねえ(笑)

●浜松市の水村春江メダカ。昨年磐田市議選の時のウグイス嬢の写真とともに2句。「命ありて憂きもよきかな福寿草」「生かされて悉くも傘の春 和顔愛語を秘めつつ歩む」と。

●周智郡森町の天野智加志メダカ。茶の湯師匠だけに、茶の湯の俳句6句。「明の春嶋臺(しまだい)茶盃に籠むる茶意」「寺若葉 兼中齋の忌一期の茶」。夜咄茶事「小灯して魅入るや夜語の井戸の盃」「濃茶汲む冬嶺孤松の軸仰ぎ」。「床掛は無事一行や師走茶事」。めだかの学校再会したいですね。こちらは分かるんだが、ううん難しい。私も一句、「元旦や緑茶の香り露の朝」ナンチャッテ。

●森町の榊原淑友メダカ。コロナ禍の中、2年ぶりに子や孫達の顔を見ることができました。当たり前のことがいかに有難いかを実感しています。だって。だいが省略しますが、「世界を救うのは日本の和の心だ」日本は「失われた30年」と言われ、世界の金融経済から落伍者扱いを受けているが、そんな中で韓国人の企業家・ジエスさんが、世界を救うのは「日本の和の心だ」と。自分さえよければ良い、自分の企業さえ：自分の周りさえ：という利己主義を超えない限り人類は共滅の道へ向かい、それを救えるのは日本の自他調和の精神「和の心」である。と。：異常気象や災害の頻発、オミクロン株が世界中で猛威を振るっている状況を、あなたはどのように感じますか？省略して意味が通じないところがあるかも…ごめんね。

●長久手市の横田浩臣メダカ。相変わらず長久手市内の里山づくりの仲間と楽し

んでいる。設楽町の「4年の森」では、人工林や雑木林をブナ林にする夢の協力もまた2008年に旅したブータン王国は、「幸福な国」として認識してきたが、最近になってその当時でも人口60万人のうち約20%の住民が宗教や生活習慣が異なることから避難民としてネパールに追われていることを知りました。旅人として接した内蒙古では、小学校で蒙古語を教えない教育制度が始まり、なんども訪れた新疆ウイグル自治区ではジェイスイドが行われている報道もあり、しばらくはこれまでの旅と難民をテーマに、脳の老化を防止したい、だって。そのところの話は今度めだかの学校で話して欲しいですね。

●袋井市の大場敬子メダカ。昨年は中国のウイグル、香港での人権弾圧が明らかになってきました。今年も北京五輪ですが、このような国に平和の祭典を開催する資格があるでしょうか。また台湾にも武力侵攻しようとしています。これは対岸の火事ではありません。台湾が中国の手に落ちたら次は尖閣、その次には沖縄が取られてこのままでは日本が中国の属国になってしまいます。今年も日本が自国の独立が保てるかどうか大切な年になるでしょう。今年もコロナだけでなく、中国にも警戒が必要ですね。だって、コロナはインフルエンザよりこわくはありません。元気にめだかの学校やって、ウイリスを吹き飛ばしましょう、とも。(：は省略してるところです。)

●千葉県松戸市の滝川徹メダカ。体だけは自信があったのですが、昨年は、「トラブル」続きで、医者に行っても「加齢からです」とあっさり一言。でも曲がり角を曲がってしまえばこっちのもので…。うっとおし、コロナ禍ですが、人のつながりの大切さが再認識された気がします。ポチポチ

やっています。だって。滝川さんのような人がメダカ生に多くなったヨ。でも口ウカと言われなかつただけでも良かったね。(笑)

●浜松市の水島加寿代メダカ。自然免疫の奥深さは、つみ草から学びますね、だって。ホント野草のつみ草の力は凄いなもんね。つみ草時代がなつかしい。めだかの学校の発祥地でもあった「引佐自然休養村山野草の店つみくさ」の跡地は、今はソーラーパネル基地になっていると、西原弘元メダカがFBで教えてくれました。

●飯田市南信濃の玉置洋一メダカ。三遠南信道、中部電力発電所計画、かぐらの湯、4年後和田保育園消滅、7年後和田小学校消滅？、結構にぎやかです。頑張ります！、だって。地域の人口減少大変ですね。早く三遠南信道が開通して、人流が増えるといいのにな。

●浜松市佐久間町の山田修平メダカ。山のくらしは年々きついです。楽しみながらがんばっていきたいです。だって。ひろ子奥様とご一緒に縁側カフェ今でもやられていますか？

●静岡市の西島朋子メダカ。2021年は梅ヶ島のログキャビン修復プロジェクトでクラウドファンディングに初参加。色々な出会いや喜びを経験させて頂きました。2022年はここで何をするか…何を発信していくのか…。今まで以上に悩んだり、苦しんだりしそうな予感もしています。ですが本年も前を向いて仲間と共に進んでいく所存です。だって。英さん、バラさん、静岡駅までくればご案内しますヨ、と以前言われていたけど…いまだにです、ハイ。

●浜松市の古橋利雄メダカ。コロナ感染予防のお陰で2年間風邪をひきませんでした。感染者と死亡率は断トツに低い日本は素晴らしい国です。だって。めだかの学校

もリモートで…とも。困った。私相変わらずのメカオンチデス、ハイ(笑)。

●静岡市の日比野雅彦メダカ。テレビ局に移り半年となりました。まだまだ修行中のございます。よい番組づくりのため努力してまいります。早く皆さんの顔が見たいです。お体をお大事に、だって。(昨年に名古屋の中日新聞本社から静岡へ。)

●磐田市の伊藤英雄メダカ。お正月に春野町にある火伏せの秋葉寺(しゅうようじ)に初参りに行った、と。細い山道を運転できて良かった。来年も車でいけるといいんだけどねえ。だって。分る、分る。歳を取ると細い山道とか夜の運転はとくに怖いもんねえ。

●森町の村松達雄メダカ。今年度は父母の介護をしながら、森町文化会館の仕事に携わっています。コロナ禍や年齢と戦いつつ、できることから少しずつやろうと心がけ、毎日の生活を大切にしようとおもいます。コロナ禍が早く収束し、多くの方々に普段の生活が戻ることを願っています。だって。

●浜松市細江町の上嶋裕志メダカ。今年71歳になります。大病しましたが、75歳までは現役で仕事をしたい、だって。細江町西気賀にある「姫岩」。昔、浜名湖の渡しを避けて湖の北を通る道がありました。この道は主に女性達を通るので「姫街道」の名が付きました。眼下に浜名湖を望み、姫街道一の眺めのよい所、お姫様の行列もここで休み、お姫様は「まあよい景色」と言っています。この休憩した八畳ほどの平坦な岩は「平岩」と呼ばれていたが、いつの間にか「姫岩」と呼ばれるようになり、その上に座ると良いことが起こると言われています。と。どうです「姫岩」に座ってみない？上嶋メダカ、その岩に座って大病が治った

とか、治らなかつたとか、聞いてみたら？
(笑)

●浜松市引佐町の牧野久子メダカ。よき1年でありますように、めだかの学校が始まると良いね。私はなんとか頑張つて良い方にならばいい。今は字を書くのもぼやけて二重に見えます、笑わないで下さいね。足の方はリハビリもうまくいって少しづつですが、歩くのを増やしていこうと思つています、だって。同じような人が多いですヨ。病院へ行けば「ロウカ」と言われ、ダジャレの水野ター坊ちゃん「それでは廊下を走ればいいんだネ」「いやそうじゃなく『老化』です」と医師と珍問答した、だって。(笑)

●埼玉県草加市の藤田久枝メダカ。今年も色々修理しながらでも乗り越える様、体力強化を目指します！幸いちんどんの依頼も入ってきていますので、笑顔みたくて練習練習!!だって。そう、潤ちゃんも天上から応援してくれているもんね。ガンバレガンバレ久枝！でもムリはしないように：デスヨ。

●長野県天龍村の関京子メダカ。めだかの学校行きたいです。良いメダカさんばかり私は助けられました。86歳になつても勉強が足りません。感謝です。お孫さんの書いたトラすごく良いです、だって。いや、関さんとは長く会っていないねえ。今はコロナコロナでみんな巣籠り中!?!そのうち会える、きつと。そのためにも元気で居ないとね、だよ。

●浜松市の埋田千聡メダカ。笑顔いっぱい今年も野山で、海辺で、河原で、あなたの傍らで歌います。いつも応援ありがとうございます、だつて。FBで見えますヨ。そのパワフルな活動にはびっくり!歌ったり、しゃべったり、踊ったり。みたーいと思つ方はFBまたはHP「Ironappop.com」

で。

●小田原市の溝口久メダカ。静岡県小山町を経て南足柄市参事として勤めてきたが、市長と波長が合わなくなり、一年間勤めた後の昨年7月末に同市を退職。体育センターグラウンドの人工芝化、廃校だった北中学校の利活用、再開発ビルへの子育て支援センター立地など、それなりの成果はあったと思つています。その後は茨城県境町長からオファーがあり、9月から参与(非常勤)として月1回同町に出向き、人自治体を繋げることやアートのまちづくりの企画に取り組んでいる、と。南足柄市に住んでいたが、小田原の外郎さんからの誘いを受け、12月下旬から小田原市に転居した、と。こちらにもどうぞ様子見にお出かけを!だって。いや、凄いや豪邸ですぞ!住所は小田原市南町2-1-20

●磐田市の大島たまメダカ。近況報告します。コロナに翻弄され早2年、今年こそは収束して欲しいものです。磐田市出身の世界的造園家根金作氏を顕彰し、新居町の「中根金作を研究する会」立ち上げから活動しています。新居町内に残された中根氏の手掛けた庭園や公園の手入れを通じて彼の偉業が徐々に知られるようになってきました。今年も引続き、まだ知られていない郷土の発展に尽くしてきた偉人達を掘り起していきたいと思つています、だつて。

●掛川市の鳥山剛メダカ。倉真、報徳社川根町、森町、バラさん宅に大量のアサギメダカが飛来する年になります、だつて。そう、鳥山さんがアサギメダカが好きなのジバカマを提供協力しているところですよ、ハイ。

●磐田市の田村進治メダカ。メダカ万歳!!元気で行きましよう!!だつて。きれいな花壇の写真と一緒に。花は奥さんが世話

進ちゃんは大工仕事は得意だけど花はダメだもんね。(笑)

●浜松市の手創り工房「和の森」の藤田吉恭メダカ。コロナのことも有りますが、店のあり方も考えてしまいます、だつて。手作りのかわいらしいトラさんぬいぐるみの写真とともに、です。

●磐田市の富田久美子メダカ。森の中のきれいなトラさんのイラストと…。会いたい人に会えるっていいなあ、いつも思っています。いつもそばに居させて下さい、お二人の…だつて。いやいやこちらこそ、寄っては安否確認してくれて…感謝してます、デス。

●浜松市の中村明男メダカ。イキな若衆のヨコスカ祭ハッピ姿の版画に…いつもパワフルバラさん目標に、今年もゆつくりスタートだつて。いやいや年だけ重ねているだけですヨ。カラ元気にです、ハイ。

●浜松市の池田誠二郎メダカ。行雲流水ゆつかりのびのび心まるやかにしなやかに。お会いしたいです。ぜひお立寄りくださいませ、だつて。早くコロナが収まって、ゆつかりのびのびお会いしたいものです、ハイ。

●長野県高森町の橋都秀子メダカ。デコ果樹園のガンバリ屋さん。60代最後の年、未だ未だ頑張ります、だつて。リングやラフランスの花はまだまだですヨね。

●浜松市の間瀬亮太メダカ。旅のGOODパートナー!。マブチトレーディング「サニートラベル」、だつて。旅行はいいですね。そのうちコロナも収まって国のGOTOが始まるかも。コロナちゃん、早くおさまつて!!。いつも「メダカの便り」まとめてもらつてありがとうございます。とめてもらつてありがとうございます。

●浜松市春野町の尾上美智子メダカ。尾上邸の四季の風景写真。いいねえ。春が待ち遠しいです。ハイ。

●三重県津市の杉谷知也メダカ。お父さんに似た元氣な男の子3人の写真(いや、結構結構、いいねえ。オツ、新1年生になるのは佳紀くんかな?)

●磐田市の秋山勝則メダカ。色々気にかけて頂きありがとうございます、だつて。私の方がお世話になってますヨ。第114回めだかの学校の教頭先生よろしく!の予定でしたが、オミクロン株の大拡大の感染で「休校」としました。学びがコロナの中でなかなかできず残念です。

●岡崎市の太田民次メダカ。詩吟の方、コロナ禍で苦労しています、だつて。みんな集まって声いっばい出すのは無理ですよ。少しお待ち下さい「オミクロン株より、なーんちゃって」

●磐田市の山下安範メダカ。昨年は東京オリンピックのお手伝いでコロナ対策をして東京と静岡を何度も往復しました。多くの感動の場面に立ち会うことができて良い経験と多くの思い出ができました。大会組織委員会会長の橋本聖子氏との記念写真も思い出の1つです、だつて。橋本聖子会長の隣でハイポーズ。いや、良かったですね。私たちはテレビ観戦でした。感動的でした。ハイ。

●森町の田邊哲メダカ。毎年お世話になるウルルン川口さんからの富士山の写真とともに…。昨年の富士登山はワクワクン接種が間に合わず、2年連続中断を余儀なくされました。今年こそ終息を願いたいものです。3年ぶりの富士登山は7月1日(日)19日(火)です。(1泊コースもあるます)だつて。興味のある方は、090・2614・1927へ問合せしてみても。おもしろい人ですヨ。

●掛川市の杉浦清司元メダカ。田貫湖から見る雄大な富士山の写真とともに…。新型コロナウイルスの世界的なパンデミック

は、人の命のはかなさと生きることの意味を深く知る機会となりました。まだまだ続く終わりの見えない、試練に精一杯向き合って、感謝の心を互いに思いやり、夫婦仲良くむつまじく、そして人を思いやり優しい自分でありたいものです。だって。そうだね、そうありたいね。でもなかなかねえ。(笑)

●浜松市引佐町の太谷義房元メダカ。年賀状。「祝新年元旦新聞」特別号発行。近況報告「新年明けの!!」昨年浜松市の区再方向性が示され、今後この町は天竜浜名湖鉄道沿線が1つの区となると予想されま

す。直虎のまちが光り輝く方策が課題、だって。大きく区割りされるようですが、小さなところは大きなところに飲み込まれてしまう!? 引佐町は!?…

●掛川市の山内秀彦元メダカ。榎東海まちづくり研究所代表取締役で、NPO法人地域づくりサポートネットワーク代表理事。昨年

●豊田市足助町の佐久間章郎さん。1杯飲んで大虎さん、まさにそっくり!?。全国町づくり交流会も福島飯館村のあと高知馬路村での開催が決まっていたのですが、コロナの影響で3年間開催ができずにいます。今の状況など考えると何とか6月3日〜5日(日)で開催できそうとのこと

です。だって。開催できるといいですね。ただ「めだかの学校」と重なってしま

うのが玉にキズです、ハイ。

●焼津市の平山静代さん(言い出しっぺ平山メダカの奥様)。「無沙汰しております。皆様お変わりなくお過ごしのことと

船木薫が書き残した「ひとすじの道」の一節です。母は10月4日103歳にて永眠。大正・昭和・平成・令和の時代を逞しく華麗に生きてきた自慢の母。母が過ごしてきた私の知らない風景や時間に想いを巡らせ、喪に服す日々。そしてそれは小生の人生をふりかえる日々でもあります。コロナ禍に漸く「おし、まい」の兆しが…

お母さんも息子さんも凄いなあ。それにしても年を越した頃からオミクロン株、一気に拡大。感染者は全国に過去最多と…。マイルネエ。

●浜松市引佐町の伊藤友子さん(言い出しっぺ故伊藤茂男メダカの娘さん)から欠礼ハガキが届きました。母牙子 去る1月2日85歳にて永眠致しました。平素のご厚情を深謝いたしますと共に、みなさまに良い年が訪れますようにお祈りいたしま

す、と。伊藤牙子さんは「つみくさ」の職員として、めだかの学校前から裏方として「めだかの学校」を支えてくれました。心からお礼申し上げます。

嬉しいですね。

××× ×××

もっともつと多くのみなさんを載せたかったのですが、紙面の都合で今回はこれまで。次回はあなたの番です。お手紙下さいね。

《めだか春秋》

最近の出来事として、コーヒーをドリッ

プして飲むということにはまっています。今までは、インスタントコーヒーや缶コーヒーを手軽に飲んでいましたが、今は挽いた豆を紙フィルターを使ってドリッして飲む。20秒蒸らして、2回に分けてドリッ

プ。少しの時間をかけ、薫りを感じ味を楽しむ。豆によっても挽き方によっても味が全然違う。感じようと思わないと通り過ぎる、通り過ぎていた。

IT社会となり効率的・合理的流れが加速しています。自分も携帯電話1台で色々な仕事を片付ける。学校においても1人に1台端末が配られ、授業のあり方も劇的に変化していく。核家族化・夫婦共働き、会社でも家庭でもどこか忙しい世の中になっ

※お知らせ

めだか春秋はリレー形式で、第115回めだか春秋は、木村智子メダカ。

■事務局だより

寒中お見舞い申し上げます。

みなさんはどんな新年をお迎えだったでしょうか。昨年末ごろまで収まりつつあったコロナも、今年に入ってオミクロン株の急拡大で一気に第6派へ。2回ワクチンを打った人も感染した、と言うのだから困ったものです。「高齢者の感染は少なく若者が多いから、私は大丈夫」などと思わないでください。めだかさん。とにかく手洗い、マスク、3密は避けて、人混みのあるところは極力避けましょう。ですね！

さて、第114回めだかの学校は、本来は昨年の12月5日（土）でしたが、コロナの関係で2022年3月4日（土）に延期。「めだかの学校便り」は「12月1日特別号」として発行しました。また三役は独断と偏見で、校長野村諒子（三島市）、教頭秋山勝則（磐田市）、用務員横山忠志（掛川市）で決めさせてもらいました。通年テーマ、今回のテーマ、授業は、「休校」となった第113回と同じにしました。

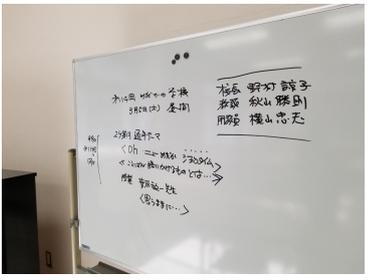
第114回めだかの学校の職員会議を、1月15日（土）午前10時から、磐田市敷地の豊岡東交流センターで開く。半年ぶりの職員会議。出席者は野村諒子メダカ、秋山勝則メダカ、横山忠志メダカの三役と、石野省三メダカ、伊藤英雄メダカ、中村明男メダカ、榊原幸雄メダカの7名。遅れて榊原淑友メダカが出席。



はじめに、小野泰弘メダカが11月になくなったことを報告。続いて校長のあいさつ、教頭と用務員と…。なんせこのところ開催していないので校長先生の顔も知らない人もいて（笑）。内容の検討をするのにあたって、ホワイトボードに第113回から継続の、通年テーマと今回のテーマ、授業などを書く。検討事項は、コロナ禍の中、『開校する』のか『休校する』のか、いろいろな意見を述べてもらう。●12月ときは延期したが今回は延期しない。校長訓話もできている。●オミクロン株はデルタ株のときとは違って重症化するリスクは少ないところから緊張感が少ないのでは？●県立観音山少年の家では、何んら関係なく色々な事業を進めている。●三島市は昨年

も桜まつりを実施。今年もやる予定。静岡市の大御所まつりも、姫様道中も規模を縮小して実施予定とのこと。●横須賀の「風まつり」は進める方向で検討中。ただ東京などの他団体の参加もあるのでそのあたりは未定…。などなど色々な意見が出たが、最終的にはもう少し様子をみて決めたら…と言うことになり、2月15日をメドに決めることに。その間、「めだかの学校便り」は作業を進め、『開校』『休校』の2本を用意しておく。遅

れて出席の榊原淑友メダカは経過の説明に「やめた方がいい」と。問い合わせのきた鈴木正士メダカと村松達雄メダカに



はその旨説明。「様子をみて決めたら…」とのこと。

…そして、コロナの感染状況は、悪化の一途。どこかしこも毎日のように過去最多を更新と。『休校止むなし』と腹は決めてはいたので『休校』では進めている。『めだかの便り』は年賀状もあつて情報量も多かったので6頁建てにしました。『こんなところにもコロナの影響が…』

うーん、めだかの学校のフトリコ具合も厳しい状況になってきた。めだかの学校の運営費は年間10000円の入校金と開校日に出席者からいただくPTA会費3000円と寄付などで、29年間変えることなくまかなってききましたが…。だからと言ってめだかの学校の形態や便りなどの発行を変える気にもなれず、休校ばかりでは申込金を上げる気にもなれず…。まあなんとかするしかないか。コロナちゃん、早く収まって〜！（笑）。

話は変わりますが、めだか生のなかで天界に行く人が多くなってきました。めだかの学校の中締めではないですが、2年後の2023年9月の第120回（まるまる30年が終わって31年目に入る）に、『めだかの学校まるまる30周年、第120回大同窓会』（仮称）をやったらどうかと思うけど如何でしょうか？因みに私は83歳になります。（笑）ご意見をお寄せください。（バラメダカ）

■第29期の受付をしています。

第29期は、令和3年9月1日から令和4年8月31日までです。毎年度手続きが必要で、継続手続きは6月5日の第112回めだかの学校から受け付けています。2月15日現在71人の生徒が済ませています。

す。まだ未手続きの生徒は、入学金1000円を添えて提出してください。継続手続きのなされない生徒は名簿からはずれ自主退学となります。28期では10数人の生徒が自主退学となりました。新しく入校を希望される方がいましたら事務局までご連絡ください。申込書と資料を送ります。

■今回も遅れました。ごめんなさい。

いつもご協力いただいています石野省三メダカ、田村進治メダカ、水島加寿代メダカ、伊藤英雄メダカ、今回は原稿が多かったのと私のパソコンがダメで、大島たまメダカと秋山勝則メダカに協力いただきました。まとめてくださる間瀬亮太メダカ、発送などのお手伝い榊原明美さんありがとうございました。

■めだかの学校だよりの原稿を！

今回の発行は、令和4年5月1日予定。締切4月15日です。みなさんの日頃の活動をお手紙かファックスで。LINEやFBでもOKです。メールの方は、

《maduchi-tr@y. inc. ne. jp》
間瀬亮太090・5009・0986です。
（メールの方は割付の関係もあるので「報を」）

■めだかの学校の事務局

〒438・0105 静岡県磐田市家田5
29番地20 榊原幸雄方 TEL 05
39・62・6691（FAX同じ）

※学舎「一宮総合センター」周智郡森町一宮3150。電話 0538・89・77
30 開校日の午後4時以降のみ使用可。
携帯 080・1612・913

